

【高橋館長からのメッセージ】

皆様、こんにちは。暖かさを感じる日が増えてきました。季節は春ですね。公園内ではミモザが開花を始め、木々も芽吹きを時期を迎えています。植物館ではヒスイカズラの花も咲き始めました。3月中に見頃をむかえるでしょう。さて今年度の冬の夜間開館は2月に実施し、多くのお客様にご来館を頂きました。大温室で行った滝の上のコンサートも盛況で、普段の風景とは異なった植物館の別の魅力をご覧になって頂けたと感じています。

公園の施設では一部の工事は完了となりますが、また違う場所で工事がスタートします。植物館のイベントホールも3月末まで工事により閉鎖されています。次回のニュースレターではリニューアルされたイベントホールの報告が出来ると思います。工事に関わるご不便もごさいますが、ご了承を頂きますよう宜しくお願いいたします。

館長 高橋 将



季節イベントの紹介 (イベント・展示担当：関)

3月になり季節も春めいてまいりました。企画展は「夢の島クイズラリー2019」。どなたでも無料でご参加いただけます。当館にある植物を題材に、館内に散りばめられたクイズを探し、解答しながら回ります。全問正解の方には賞品も当たります。楽しみながら植物を学べるチャンスです。他にも様々な催し物もごさいます。スタッフ一同皆様のご来館をお待ちしています。

【3月の企画展】「夢の島クイズラリー2019」(2/26~3/31)

「MKLabオリジナルフォト作品展」(2/26~3/31)

《関連イベント》「デジカメ&スマホ写真教室」予約制(3/10)

「デジカメフォトコンテスト 2019(詳細はHPにて)」(1/8~3/10)

《季節イベント》「ウィークエンドコンサート」(3/2、16)

「ハーブの学校」予約制(3/3)

「森の学校」予約制(3/9)

「大人のためのフラワーアレンジメント教室」予約制(3/17)

★詳しくはイベントチラシで。または夢の島熱帯植物館にお問い合わせください。

館内で見られる植物の紹介 (植物館植栽担当)

セントポーリアの正式な和名は、「アフリカスミレ」です。原産地は東アフリカで、花や全草がスミレに似ていることから名付けられました。

自生種は 1890 年頃、現在のタンザニア・北東部ウサンバラ山で発見されました。自生種は二十数種が知られ、ケニア南部からタンザニア北部の丘陵地帯に分布しています。その後、1893 年に開催された博覧会に出品されて注目を集め、イギリス、ドイツ、アメリカで品種の育成が始まりました。

園芸品種は、花の色合いや形、咲き方から葉の形等の分化が進み、多種多様です。例えば、自生種の花はほとんどが青またはすみれ色であるのに対し、園芸品種はこのほかに白、桃、赤、紫色などがあります。

原産地は森林の中の湿った場所や川の流れの近く、あるいは崖の斜面の岩の割れ目など、日光が弱く湿度が高いところです。森林破壊が進み、木が切られて強い日差しがそそぎ込むと枯れてしまったり、園芸品種の改良に使用するための原種の乱獲により自生種は消滅したと言われています。



セントポーリア (イワタバコ科)

今月の花と果実



▲シマギョクシンカ



▲ヒスイカズラ



▲バニラ

♪この時期のお花たち♪

寒さのピークを越え、春が近づいています。大温室では花の種類が増え始めました。大人気の「ヒスイカズラ」は鮮烈な色で落花も見応えあり。蘭としても観賞価値の高い「バニラ」。可愛いブーケのような「シマギョクシンカ」。花の形が漢字の丁に似ている事から名付けられた「ハナチョウジ」。見逃せない花ばかりです。

3/1~  
3/31

コーヒー・紅茶  
一杯無料

【サービス券】団体不可